

# パイロット事業協力 に関する 情報提供資料

2022年2月

総武物流株式会社

## 1. 実施者の概要

- ▶ 社名：総武物流株式会社
- ▶ 事業内容：食料品・酒類の運送
- ▶ 主な荷主：キッコーマン食品株式会社

## 2. 事業概要

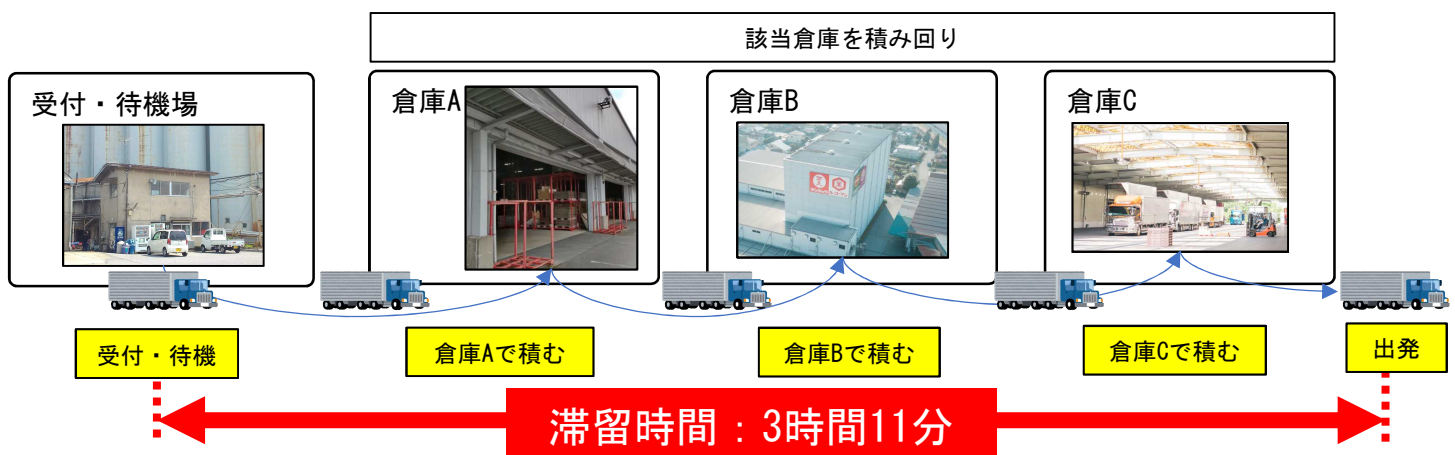
### ▶ 対象事業

千葉県野田市内の荷主倉庫から主に首都圏・関東の得意先および全国荷主倉庫への配送  
※業務システム=WMSによる在庫・入荷・出荷管理

- ①市内に点在している複数の荷主倉庫から積み回りしての配送
- ②トラックドライバーの動き：  
事務所での受付⇒伝票受け取り⇒野田市内の各倉庫へ移動

### ▶ 現状把握

- ・発地での滞留時間（受付してから出発までの時間）は**3時間11分**（2019年4～7月平均）と判明 ※WMSシステムデータより解析



### ▶ 改善のための取り組み

- ①トラックと倉庫作業の見える化に特化したシステムを開発・導入する  
管理者がWeb画面で指定した倉庫別の出荷優先順位を、倉庫に設置するモニターで作業者が確認し、管理者指定の優先順位で出荷を準備する
- ②上記のシステム導入と並行して倉庫現場の運用を変更する

### ▶ 取り組みに対する目標・成果

- ①目標：滞留時間3時間11分（2019年4月～7月平均）に対し、1時間短縮
- ②結果：滞留時間△1時間達成（2021年度）
- ③今後：さらなる滞留時間の削減およびペーパーレス等を目指す

## 3. 課題

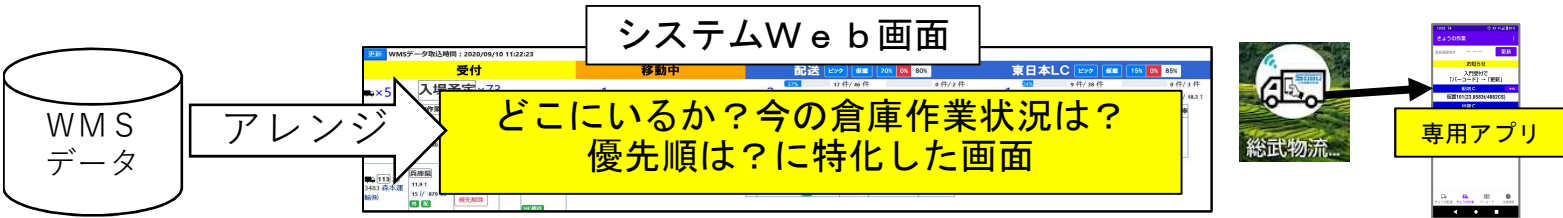
- ▶ 倉庫作業者に正確な情報を迅速に伝える手段がないため、刻々と変化する出荷作業の優先順位が現場に伝わらない
- ▶ ドライバーの移動状況や倉庫側の準備状況がわからず、ドライバーの荷待ちが発生（長時間の待機）
- ▶ ドライバーからのクレーム等での現場作業員の精神的負担の増加

いつまで経っても荷物が積めない

残り1パレットが出てこない

## 4. 事業内容

- ▶ トラック誘導システムの開発・導入（2019年度より開始・随時バージョンアップ中）  
WMSの一覧データをアレンジして倉庫作業者が一目で状況が分かる一覧画面を作成
  - ①見える化：ドライバーがどこの倉庫にいるか？倉庫の作業は終わっているか？を表示
  - ②優先指示：Web画面上から優先順を指定することで出荷の順番を明確にした  
→管理者が行かなくても倉庫作業者がチェックして優先順に沿って作業できる
  - ③倉庫展開：各倉庫にWeb画面で状況を共有  
→問題があればすぐに対処できるようにアラーム表示を用意
  - ④アプリ配布：ドライバーにスマートフォン専用アプリを配布  
→位置情報&該当倉庫の状況を提供



- ▶ システムと並行して運用変更を実施
  - ①倉庫各所に見える化用のモニターを設置
  - ②フォークリフトの作業導線の見直し
  - ③ドライバーノー検品（倉庫作業者が検品）
  - ④初心者ドライバーへビブスを着用してもらい目立たせることで優先的に指導



## 5. 結果

- ▶ システム導入と運用変更により優先指示の手間が削減され徐々に滞留時間が減少した結果として目標としていた**1時間短縮を2021年度に達成**
- ▶ 優先順に作業することで一時的な荷物の退避が減り倉庫スペースを有効利用できるようになり、出荷作業の回転が向上
- ▶ ドライバーが倉庫の優先指示に理解を示して協力的になりクレームゼロ化

実施年度	滞留時間	結果
2019年度	2時間42分	▲29分
2020年度	2時間24分	▲47分
2021年度	2時間09分	▲62分

## 6. 荷主企業・元請け事業者のメリット

- ▶ ドライバーの労働時間短縮につながり、運送協力会社からの評価を高めることができた
- ▶ 倉庫作業者の労働時間削減に貢献できた
- ▶ 各作業のデータを蓄積、分析することで、今後のDX推進に繋がる

## 7. 結果に結びついたポイント

- ▶ 社長をプロジェクトリーダーとした全社体制で取り組んだことが目標達成につながった
- ▶ 配車・倉庫作業指示等にトラックドライバー視点を折り込み、1台毎に時間管理を行い、“見える化”したことが好結果につながった

## 8. 今後の展開

- ▶ 全フォークマンにタブレット端末を支給し、ペーパーレスピッキングを行い紙資源の削減及び更なるトラック滞留時間削減を目指す

